

第6章 EUの市場・消費動向

◎ 本章のポイント

本章は、統計資料をもとに、日本からEUへの輸出動向や、他国からEUへどのような品目が輸入されているかを概観している。

今後の輸出可能性の検討に、参考になればと考えている。

本章は、以下の2つの項目で構成している。

- I. EU諸国の概要
- II. 日本製品の輸入動向
- III. EUの輸入動向

I. EU諸国の概要

日本の農水産品は、高品質・高価格であることから、ある程度の購買力がある国がターゲットになる。そこで、統計資料からEU諸国の購買力を調べている。

II. 日本製品の輸入動向

EU主要国で、日本からどのような農水産品が輸入されているかを記している。

III. EUの輸入動向

EUにはどのような品目が輸入されているか、どのようなニーズがあるのか、EU全体及び主要国の日本及び全世界からの輸入統計により明らかにする。

I. EU諸国の概要

EUは「単一市場」とはいえ、構成国ごとに経済規模や人口の相違があり、域内がすべて同じようなマーケット特性を持つとはいえない。特に、近年EUは新規加盟国を増やしており、元々の西欧のメンバー国（英国、ドイツ、フランス等）と新規加盟国の南欧（ギリシャ等）や中東欧諸国とは市場規模が大きく異なる（【表6-1】）。

【表6-1】EU加盟国の市場規模

国	GDP (10億ドル)	人口 (百万人)	1人当たりGDP (ドル)
オーストリア	292	8	32280
ベルギー	352	10	31280
チェコ	107	10	9130
デンマーク	241	5	40750
エストニア	11	1	7050
フィンランド	185	0.3	32880
フランス	2040	60	30370
ドイツ	2740	82	30690
ギリシャ	205	11	16730
ハンガリー	100	10	8370
アイルランド	181	4	34310
イタリア	1677	57	26280
リトアニア	22	3	5740
ルクセンブルク	31	0.5	56380
ラトビア	13	2	5580
オランダ	579	16	32130
ポーランド	242	38	6100
ポルトガル	167	10	14220
スロバキア	41	5	6480
スロベニア	32	2	14770
スペイン	1039	42	21530
スウェーデン	346	9	35840
英国	2124	60	33630

注) キプロス、マルタを除く。

出所：世界銀行

日本の農林水産物は、EUまでの輸送費や関税の問題からコストがかかり、「廉価品」ではなく「高級品」とならざるを得ない。従って高級品を購入可能なマーケットが輸出の対象とならざるをえない。

EU諸国を

- ・人口（市場としての規模があるか）
- ・1人当たりGDP（購買力があるか）

という視点で捉えると、人口が5,000万人以上で、1人当たりGDPが3万ドル以上ある国は、英独仏3カ国に過ぎない。市場規模ではイタリア、スペインが続いて挙げられるが、スペインの一人当たりGDPは、英独仏の3分の2程度に過ぎない。新たにEUに加わった諸国（例えばポーランド）はさらに1人当たりGDPが小さい。

1人当たりGDPでは、オランダ、デンマーク、ルクセンブルグといった国で英独仏より高いケースがあるものの、ただし人口規模は小さい。

このような視点から、市場規模と購買力のある地域として、ドイツ、フランス北部を結ぶ東西軸と、英国南部とイタリア北部を結ぶ南北軸の「十字架」地帯があげられる。

II. 日本産品の輸出動向

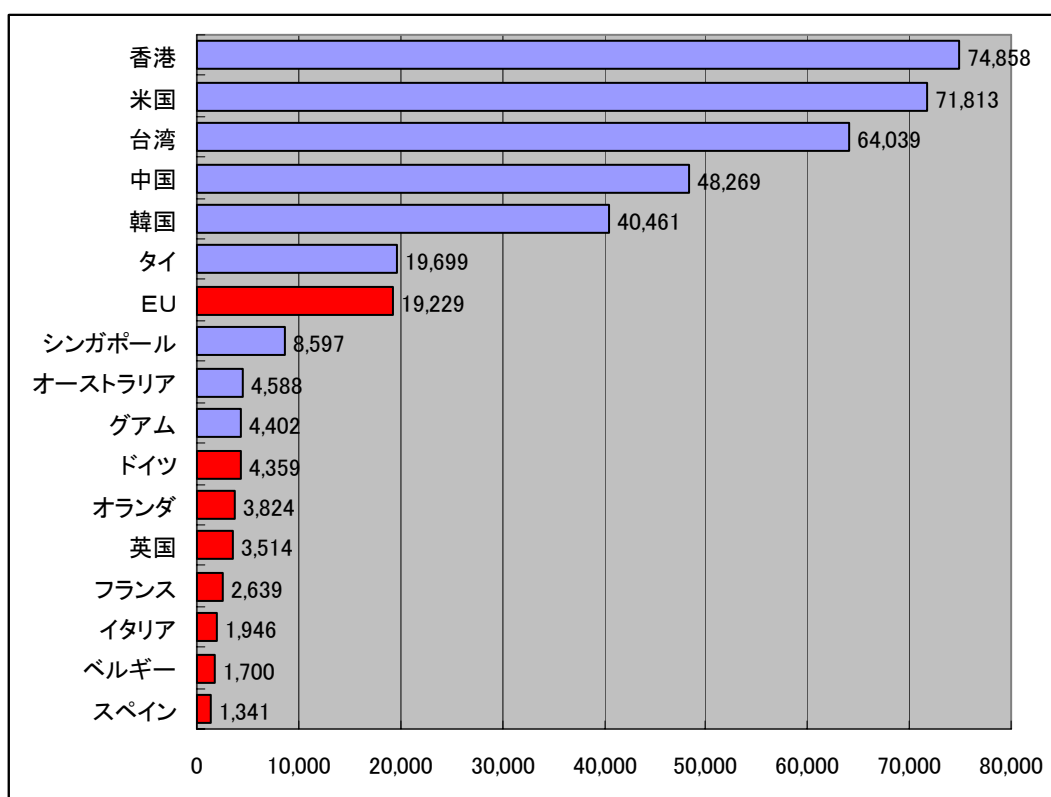
1. EU全体

2005年実績では日本からの輸出先上位30国の中に、EUは7カ国（2004年は8カ国で1カ国減少）がランクインしている。

個々の国の貿易金額は小さいものの、合計では年間貿易額は190億円に達する。EU全体ではタイに続いた第7位（2004年は6位でタイに抜かれた）に相当する。

英独仏は在留邦人数も多いため日本食品の輸入先としてランクインするのはわかるが、在留邦人数も国民人口も少ないオランダが、EUのなかではドイツと僅差の2位（全世界ではドイツが10位・オランダは13位）になっている点が注目される。オランダは欧州のゲートウェーとしてここを経由する貨物が多いことがこの結果に反映されており、オランダ経由で、EU諸国に輸送されるパターンがあるものと考えられる（【図6-1】、P.97【表6-2】）。

【図6-1】2005年の日本農水産品の輸出貿易額（単位：百万円）



出所：農林水産省ホームページより作成。

(<http://www.toukei.maff.go.jp/world/index.files/wagakuni2koku.htm>)

【表 6 - 2】日本からの輸出額（2005 年、単位：千円）

	順位	農林水産物計	農産物	林産品	水産物
ドイツ	10 位	4,359,457	2,468,553	122,109	1,768,795
オランダ	13 位	3,823,938	2,787,837	32,007	1,004,094
英国	16 位	3,514,215	2,711,221	42,911	760,083
フランス	19 位	2,639,294	1,252,632	75,119	1,311,543
イタリア	23 位	1,945,579	975,537	32,606	937,436
ベルギー	24 位	1,605,386	1,121,295	409	483,682
スペイン	26 位	1,341,322	800,208	3,206	53,790

出所：農林水産省ホームページより作成。

(<http://www.toukei.maff.go.jp/world/index.files/wagakuni2koku.htm>)

【表 6 - 3】在留邦人数（単位：人）

	2003 年 10 月 1 日	2004 年 10 月 1 日	2005 年 10 月 1 日
英国	50,531	50,845	54,982
ドイツ	27,081	29,470	32,011
フランス	32,373	34,696	28,602
イタリア	8,590	8,764	9,773
オランダ	6,784	6,767	7,602
ベルギー	6,592	6,254	6,592
スペイン	5,549	6,019	6,187

出所：外務省領事局政策課「平成 17 年海外在留邦人数調査」

日本の農水産物・食品のもっとも身近な購買層である在留邦人数は、英国が 5 万人台で圧倒的に大きく、ドイツ 3 万人台、フランス 2 万人台と続き、この 3 カ国の占める割合が高い。しかし、英国、ドイツは過去 3 年間増加傾向にあるがフランスは減少傾向にある。

その他の国では、イタリア、オランダ、ベルギー、スペインといったところが EU のなかでは在留邦人が多い国といえるが、人数的には 1 万人を切っており、日本人マーケットはそれほど大きいものではない。

2. 各国編(日本産品の主要輸出国)

(1) ドイツ

EUのなかでは、もっとも日本からの輸出額が多い。うち 31%を真珠が占め、圧倒的に多い。食品以外の農作物である飼料、加工材を加えると 35%に達する。食品では緑茶、アルコール飲料といった飲料の輸出が多い。特に、緑茶は 2004 年より 4,000 万円以上輸出額が増えている点（前年比 35%の増加）が注目される。醤油、味噌、即席麺、米菓といった加工品が多い。

水産物では、かつお、まぐろが輸出されているが、割合としては大きくなく、金額では 200 万円程度に過ぎない（しかし、2004 年は 100 万円程度に過ぎず倍増はしている）。青果物の輸出も少ない（【表 6－4】）。

【表 6－4】日本からの主な輸出品目（2005 年）（単位：千円）

品目	金額	割合
真珠(天然・養殖)	1,338,576	30.7%
緑茶	188,743	4.3%
アルコール飲料	123,051	2.8%
配合調製飼料	118,616	2.7%
醤油	107,055	2.5%
製材加工材	61,726	1.4%
味噌	49,637	1.1%
即席麺	48,848	1.1%
播種用の種等	36,663	-
米菓(あられ・せんべい)	32,086	-
かつお・まぐろ類(生・蔵・凍)	20,446	-
清涼飲料水	13,962	-
練り製品(魚肉ソーセージ等)	8,877	-
ごま油	8,552	-
綿のくず	8,015	-
果汁	7,993	-
キャンデー類	7,868	-
乾しいたけ	3,645	-
絹ノイル	2,631	-
メントール	2,508	-

出所：農林水産省ホームページ

(<http://www.toukei.maff.go.jp/world/index.files/wagakuni2koku.htm>)

(2) オランダ

播種用種子が約 18%を占め、最大の輸出品目である。これに、魚油、飼料、球根を加えると、食品以外の農林水産物を占める割合は 27%となる。食品では米菓 8%、練り製品 6%、醤油 3%、緑茶 2%、即席麺 2%、アルコール飲料 2%といった加工品で日持ちのするものが上位を占めている。これらの商品は、オランダを経由してEU全体に配送されていると考えられる。

水産物ではかつお、まぐろ、こんぶ等が輸出されている。青果物の輸出は少ない（【表 6-5】）。

【表 6-5】日本からの主な輸出品目（2005年）（単位：千円）

品目	金額	割合
播種用の種等	674,891	17.6%
米菓(あられ・せんべい)	303,220	7.9%
魚油(肝油除く)	318,827	8.3%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	217,980	5.7%
醤油	134,589	3.5%
緑茶	84,864	2.2%
アルコール飲料	82,150	2.1%
即席麺	71,870	1.9%
味噌	59,891	1.6%
球根	56,859	1.5%
配合調製飼料	30,494	-
清涼飲料水	28,387	-
真珠(天然・養殖)	22,687	-
メントール	11,970	-
寒天	10,521	-
かつお・まぐろ類(生・蔵・凍)	10,188	-
キャンデー類	9,244	-
乾こんぶ	8,325	-
ごま油	5,783	-
グルタミン酸ソーダ	3,900	-

出所：農林水産省ホームページ

(<http://www.toukei.maff.go.jp/world/index.files/wagakuni2koku.htm>)

(3) フランス

フランスではほたて貝が約9億円で全体の約34%を占めて圧倒的である。2004年の実績(3.5億円)と比較すると250%を超える大きな伸びを示したことになる。

食品ではほたてに続いて緑茶も2004年と比較して25%程度の大きな伸びを示している。他には醤油、アルコール飲料、味噌、米菓、即席麺といったものがあげられる。また、米の輸出がみられることは、他のEU諸国にない特徴である(2004年にも300万円弱の実績がある)【表6-6】。

【表6-6】日本からの主な輸出品目(2005年)(単位:千円)

品目	金額	割合
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	890,636	33.7%
真珠(天然・養殖)	304,305	11.5%
緑茶	125,157	4.7%
播種用の種等	107,364	4.1%
醤油	95,293	3.6%
アルコール飲料	83,598	3.2%
味噌	31,371	1.2%
配合調製飼料	26,030	1.0%
メントール	25,846	1.0%
米菓(あられ、せんべい)	23,676	-
即席麺	19,051	-
たばこ	17,151	-
グルタミン酸ソーダ	7,050	-
菜種油・からし種油	5,204	-
魚油(肝油除く)	2,267	-
米	2,079	-
チョコレート菓子	1,847	-
寒天	1,765	-
ごま油	1,602	-
清涼飲料水	1,042	-

出所:農林水産省ホームページ

(<http://www.toukei.maff.go.jp/world/index.files/wagakuni2koku.htm>)

(4) 英国

単独で 10%を超えるシェアを持つ品目はないが、食品ではアルコール飲料が 8%と最大であり、続いて醤油：5%、緑茶：3%、米菓：2%、味噌：2%と続く。これら品目の実績は 2004 年とあまり相違はない。

水産物ではかつお・まぐろ及び練り製品が輸出されているものの、魚類、貝類の輸出は総じて少ない。青果物の輸出も少ない（【表 6-7】）。

【表 6-7】日本からの主な輸出品目（2004 年）（単位：千円）

品目	金額	割合
メントール	300,781	8.6%
アルコール飲料	271,938	7.7%
真珠(天然・養殖)	260,149	7.4%
醤油	170,885	4.9%
緑茶	88,551	2.5%
米菓(あられ・せんべい)	68,088	1.9%
味噌	53,860	1.5%
配合調製飼料	43,746	1.2%
即席麺	40,054	1.1%
播種用の種等	35,944	1.0%
清涼飲料水	28,098	-
合板	18,007	-
かつお・まぐろ類(生・蔵・凍)	15,673	-
キャンデー類	12,361	-
練り製品(魚肉ソーセージ等)	11,098	-
米	8,585	-
ペットフード	6,518	-
ごま油	3,291	-
果汁	2,655	-
ビスケット	2,249	-

出所：農林水産省ホームページ

(<http://www.toukei.maff.go.jp/world/index.files/wagakuni2koku.htm>)

Ⅲ. EUの輸入動向

日本からEUへ一次製品の輸出はあまりされていない。しかし、EUが一次製品を輸入していないわけではない。EUはどのような品目を輸入しているのだろうか。全世界からEUへの輸入状況を概観する。

(1) EU全体

EU15国（西欧）の2000～2005年の輸入統計は【表6-8】のとおりである（EU15カ国がEU15カ国以外から輸入したもの。したがってEU15カ国間の貿易はここでは含まれない）。

【表6-8】EU15カ国の農林水産物輸入統計（単位：百万ユーロ）

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2005年の比率
生きた動物	874	842	808	756	825	948	1%
肉	2,993	3,559	3,324	3,356	3,593	4,120	5%
魚	9,488	10,448	9,940	9,948	9,833	11,485	14%
乳製品	1,140	1,318	1,258	1,348	1,687	1,799	2%
他の動物性食品	921	887	837	818	854	896	1%
生きている植物	1,215	1,258	1,267	1,231	1,230	1,345	2%
野菜	2,705	2,894	2,800	2,677	3,054	3,155	4%
果実	8,104	8,754	8,918	9,375	9,929	11,097	13%
香辛料、コーヒー、茶	5,394	4,288	3,602	3,436	3,502	4,441	5%
穀物	1,673	1,924	2,989	2,295	2,431	2,643	3%
澱粉、麦芽、加工穀物	76	77	72	71	84	94	0%
採油用種子・植物	5,512	6,343	6,086	5,985	5,724	5,363	6%
植物の液汁・エキス	468	465	440	404	461	530	1%
植物性組み物材料	135	151	118	110	107	110	0%
脂肪、油脂	2,362	2,381	2,799	2,869	3,450	4,008	5%
動物性調製食品	2,801	2,919	3,041	3,066	3,119	3,588	4%
砂糖・砂糖菓子	1,401	1,563	1,702	1,656	1,934	2,070	2%
ココア	1,887	2,233	2,938	3,443	3,008	3,176	4%
ベーカリー食品	560	609	635	689	791	908	1%
植物性調製食品	3,379	3,180	3,364	3,354	3,539	3,844	5%
その他食品	1,159	1,242	1,276	1,236	1,334	1,491	2%
飲料	3,117	3,715	3,706	3,630	4,020	4,187	5%
残滓	5,427	6,198	6,066	5,783	6,382	5,837	7%
タバコ	2,577	2,565	2,278	2,046	1,902	1,963	2%
砂糖、甘味料	3,597	3,707	3,523	3,351	3,564	3,808	5%
合計	68,965	73,520	73,787	72,933	76,357	82,906	100%

出所：データベース World Trade Atlas より作成。

EUへの食料品の輸入は、2003年に落ち込んだものの、2000年以降順調に推移しており、2005年は2000年比で20%の伸びを示している。

このなかで大きなシェアを占めるのは魚と果実であり、2005年ではそれぞれ食料品全体の14%、13%を占める。肉類は5%、野菜は4%と少ない。このことから、果実、魚が輸入品目としてニーズがあることがうかがえる。また、両品目とも2000年以降順調に推移している品目であり、肉食から魚食へのトレンドや、健康志向による果物の摂取といったトレンドが反映している結果となっている。

魚類はフィレ、甲殻類、鮮魚の3つで魚類の68%を占める。甲殻類では「エビ」が甲殻類の83%という圧倒的シェアを占める。鮮魚で輸入量が多いのはさけで、鮮魚の約60%を占める。2番目のたらは5%程度に過ぎない（【表6-9】）。

果実では、バナナ、ナッツの両品目で40%を占める。続いてパイナップル、柑橘類、ぶどう、りんごの4品目が10%程度で並び、これら6品目で果実の約80%を占めることになる。ナッツ、バナナ、パイナップルといったEUでとれない南国のものが輸入されている（【表6-10】）。

【表6-9】主たる魚類の輸入（2005年）（単位：百万ユーロ）

品目	輸入額	シェア
鮮魚	2,272	20%
冷凍	1,011	9%
フィレ	3,114	27%
甲殻類	2,384	21%

出所：データベース World Trade Atlas より作成。

【表6-10】主たる果実の輸入（2005年）（単位：百万ユーロ）

品目	輸入額	シェア
ナッツ	2,103	19%
バナナ	2,282	21%
パイナップル	1,088	10%
かんきつ類	1,112	10%
ブドウ	965	9%
りんご	915	8%

出所：データベース World Trade Atlas より作成

(2) EU諸国

主要国の農水産品の輸入状況を見ることにする。

1) ドイツ

果実が農作物の輸入の11%を占める。続いて乳製品、肉といった動物性食品が続く。

一方、動物性調整食品の輸入は少なく、自国製品でまかなわれていることがうかがえ、主要な輸入品は加工品よりも原材料であることが特徴である（【表6-11】）。

【表6-11】ドイツの世界各国からの輸入（単位：百万ユーロ）

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2005年の比率
生きた動物	541	485	509	620	743	0%
肉	3,855	3,669	3,617	3,716	3,898	8%
魚	2,060	1,873	1,677	1,725	1,910	4%
乳製品	3,635	3,815	4,429	4,337	4,180	9%
他の動物性食品	511	461	453	501	507	1%
生きている植物	1,864	1,971	1,985	1,984	1,982	4%
野菜	3,554	3,588	3,560	3,365	3,551	7%
果実	4,841	4,741	5,034	4,818	5,244	11%
香辛料、コーヒー、茶	1,574	1,361	1,325	1,352	1,729	4%
穀物	728	777	853	823	809	2%
澱粉、麦芽、加工穀物	268	269	265	279	285	1%
採油用種子・植物	1,966	1,901	1,956	2,062	1,849	4%
植物の液汁・エキス	240	235	235	242	294	1%
植物性組み物材料	60	41	33	33	32	0%
脂肪、油脂	1,072	1,239	1,336	1,565	1,830	4%
動物性調製食品	1,274	1,248	1,238	1,294	1,459	3%
砂糖・砂糖菓子	816	841	974	1,080	1,164	2%
ココア	1,408	1,598	1,761	1,733	1,697	3%
ベーカリー食品	1,568	1,675	1,738	1,826	1,913	4%
植物性調製食品	2,753	2,929	3,002	3,044	3,254	7%
その他食品	1,556	1,566	1,679	1,799	1,986	4%
飲料	3,794	4,072	3,770	3,790	3,983	8%
残滓	1,852	1,857	1,729	1,875	1,794	4%
タバコ	1,686	1,562	1,482	1,490	1,402	3%
砂糖、甘味料	1,387	1,289	1,214	1,293	1,449	3%
合計	44,863	45,063	45,854	46,646	48,944	100%

出所：データベース World Trade Atla より作成。

2) フランス

もっとも輸入が多いのは肉類であり、輸入量の 10%を占める。続いては魚、果実が 9%で続く。これらの 3 品目で輸入量の 28%を占める。

以下輸入量の多い品目としては、乳製品、野菜といった原材料と、加工品であるベーカリー食品、植物性調整食品、飲料、タバコといったものである。原材料とともに加工品も輸入されているのが特徴である。

また、ドイツと比較して魚の輸入の比率が高いことも特徴である（【表 6-12】）。

【表 6-12】フランスの世界各国からの輸入（単位：百万ユーロ）

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2005年の比率
生きた動物	278	248	262	273	269	1%
肉	2,704	2,677	2,633	2,924	3,137	10%
魚	2,696	2,589	2,610	2,634	2,868	9%
乳製品	2,199	1,992	2,020	2,077	1,948	6%
他の動物性食品	272	248	232	255	265	1%
生きている植物	904	952	1,016	1,044	1,023	3%
野菜	1,630	1,741	1,828	1,815	1,885	6%
果実	2,484	2,513	2,735	2,844	2,900	9%
香辛料、コーヒー、茶	748	722	744	669	777	2%
穀物	470	455	427	478	385	1%
澱粉、麦芽、加工穀物	214	214	208	224	233	1%
採油用種子・植物	594	601	654	531	458	1%
植物の液汁・エキス	161	148	145	165	192	1%
植物性組み物材料	17	18	20	18	20	0%
脂肪、油脂	977	1,106	1,081	1,094	1,236	4%
動物性調製食品	974	1,043	1,024	1,042	1,108	3%
砂糖・砂糖菓子	573	633	609	652	695	2%
ココア	1,315	1,594	1,743	1,669	1,526	5%
ベーカリー食品	1,594	1,710	1,720	1,820	1,800	6%
植物性調製食品	1,765	1,879	1,956	2,075	2,056	6%
その他食品	924	1,030	1,168	1,178	1,226	4%
飲料	1,794	1,897	1,903	2,060	2,096	6%
残滓	1,745	1,602	1,565	1,571	1,549	5%
タバコ	2,020	2,065	1,954	1,729	1,818	6%
砂糖、甘味料	865	863	848	865	892	3%
合計	29,917	30,540	31,105	31,706	32,362	100%

出所：データベース World Trade Atlas より作成。

3) 英国

最も輸入が多いのは、アルコールを含む飲料であり、輸入量の 15%を占める。続いては肉 11%、果実 9%、野菜 8%となり、これらの 4 品目で輸入量の 43%を占める。

以下輸入量の多い品目としては、動物性調整食品 6%、ベーカリー食品 5%、植物性食品 5%となる。

また、肉と比較した場合、魚の輸入量が半分程度であり、魚の輸入量が少ないことも特徴である (【表 6-13】)。

【表 6-13】英国の世界各国からの輸入 (単位:百万ポンド)

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2005年の比率
生きた動物	330	348	348	375	448	2%
肉	2,156	2,239	2,625	2,741	2,819	11%
魚	907	910	924	957	1,152	4%
乳製品	1,177	1,219	1,435	1,538	1,641	6%
他の動物性食品	69	66	68	69	78	0%
生きている植物	679	852	866	848	876	3%
野菜	1,479	1,575	1,670	1,724	1,947	8%
果実	1,787	1,921	2,051	2,153	2,392	9%
香辛料、コーヒー、茶	413	381	378	393	412	2%
穀物	488	461	463	431	482	2%
澱粉、麦芽、加工穀物	106	111	121	129	138	1%
採油用種子・植物	411	408	402	386	381	1%
植物の液汁・エキス	71	76	70	74	89	0%
植物性組み物材料	9	11	13	16	18	0%
脂肪、油脂	539	567	546	658	677	3%
動物性調製食品	1,177	1,191	1,266	1,333	1,466	6%
砂糖・砂糖菓子	752	745	804	841	906	3%
ココア	595	708	740	753	866	3%
ベーカリー食品	898	985	1,130	1,264	1,279	5%
植物性調製食品	951	1,019	1,197	1,206	1,292	5%
その他食品	794	866	967	1,044	1,047	4%
飲料	2,958	3,155	3,366	3,623	3,806	15%
残滓	781	752	895	914	914	4%
タバコ	345	450	392	338	344	1%
砂糖、甘味料	316	342	353	404	432	2%
合計	20,188	21,358	23,090	24,212	25,902	100%

出所：データベース World Trade Atlas より作成。